

鹿児島県トカラ列島「宝島」沿岸地域における 海外製漂着ゴミ調査と子どもたちの環境教育活動

宝島の海とあゆむ大学生プロジェクト

鹿児島県

1. はじめに

1. 1 団体概要

「宝島の海とあゆむ大学生プロジェクト」は、鹿児島県トカラ列島の宝島にて活動する大学生によるボランティアグループです。2013年、宝島の海に流れつく漂着ゴミ問題をきっかけに、宝島に住む社会教育委員の方と東京都の大学生がつながることで活動をスタートしました。

プロジェクトの拠点となっている鹿児島県トカラ列島の宝島は、カメレオン色の海が印象的な人口約100人の小さな島です。青い海と雄大な自然に恵まれた宝島ですが、最近では、中国語や韓国語の書かれた海外製プラスチックゴミが海岸に打ち上げられるようになっており、海の環境悪化や観光面における景観保持などの点において島の問題となっています。クリーンアップ活動などを通じて定期的に漂着ゴミの収集を実施しても、一週間もすればまた同じようにペットボトルや漁業用の浮きなどが漂着するため、ゴミの収集活動のみでは漂着ゴミ問題の根本的な解決には繋がらないとして、この漂着ゴミ問題に対して別の解決アプローチが島の方々から望まれました。このような海外からの漂着ゴミ問題に対して、市民として問題解決の糸口を探るべくスタートした活動が「宝島の海とあゆむ大学生プロジェクト」です。

本活動では、宝島の漂着ゴミ問題を教育の題材として、持続可能な社会に向けた若い世代の人材育成を実施しています。とくに、日ごろ自然と触れ合う機会が少ない都市部の大学生に対して、宝島の雄大な自然をいかした暮らしを通じて衣食住の大切さを実感してもらい、海外からの漂着ゴミ問題を現地で考えてもらうことによって、よりグローバルな視点から環境問題に対して自分のできることを考えてもらう機会を作ります。また、宝島で大学生が学んだことを島の子どもたちに環境教育として伝えることによって、大学生のみならず、子どもたちにもこの漂着ゴミ問題を考えてもらい、この漂着ゴミ問題をきっかけとした島全体での学びの循環を作り出せないかと考えています。今年度は、タカラ・ハーモニストファンドからの活動支援を受けることとなり、幸いにも活動を応援してくださっている方々の負担を減らすことができたため、大学生の人材育成と子どもたちへの環境教育活動をのびのびと実施することができました。今後も、この活動に参加してくれたすべての大学生が、宝島で学んだことを糧として、持続可能な社会に向けて自分にできることを実践していってほしいと願っています。

1. 2 活動実績

2013年の活動発足以降、主な活動としては「漂着ゴミクリーンアップ」「子どもたちの環境教育」「島暮らし体験による大学生の人材育成」の三つを中心に実施してきました

- 2013年 8月 鹿児島県十島村役場より海外製漂着ゴミ調査事業を委託
9月 環境学習ワークショップを開催 (第一回)
大学生向けアースキャンプを実施 (第一回)
11月 全国の島々が集まる祭典アイランダー2013にて活動発表



写真1 宝島の漂着ゴミ風景



写真2 環境学習ワークショップ (第一回)



写真3 漂着ゴミ調査事業



写真4 アイランダー2013にて活動報告

- 2014年 3月 環境学習ワークショップを開催 (第二回)
大学生向けアースキャンプを実施 (第二回)



写真5 環境学習ワークショップ (第二回)



写真6 大学生向けアースキャンプ (第二回)

1. 3 2014 年度活動スケジュール

2014 年度の活動については、第三回目となる「子どもたちへの環境教育活動」「大学生メンバー向けの島暮らし体験学習 (アースキャンプ)」「海岸のビーチクリーンアップ」を中心に実施しました。また、宝島での活動を一般の方々へ発信するイベント「Green drinks 宝島」を東京都の四谷にて開催しました。当日は都内の様々な大学から多くの学生の方々に参加していただき、宝島の活動報告のみならず、環境問題や地域活性化について学生にできることを活発に意見交換しました。

2014 年 5/29	定例ミーティング
6/13	定例ミーティング
6/19	「Green drinks 宝島」を東京都四谷にて開催
6/25	定例ミーティング
7/10	定例ミーティング
7/17	定例ミーティング
8/11~20	大学生向けアースキャンプを実施 (第三回)
8/15	漂着ゴミビーチクリーンアップを実施
8/17	環境学習ワークショップを開催 (第三回)
9/17	定例ミーティング
10/14	定例ミーティング
11/19	定例ミーティング
12/18	「年度末活動報告会」を東京都四谷にて開催
2015 年 2/10	定例ミーティング
3/27	定例ミーティング
4/12	定例ミーティング



写真7 活動報告会 (Green drinks 宝島)



写真8 定例ミーティング (東京都新宿駅付近にて)

2. 活動報告

2. 1 「Green drinks 宝島」開催

東京都の一般大学生向けの活動報告会として「Green drinks 宝島」を東京都四谷にて開催しました。「Green drinks (グリーンドリンクス)」とは、グリーンやサステナビリティをテーマにしたイベントのことです。green という言葉には「エコ・食・エネルギー・まちづくり」など多彩な意味があり、世界 800 都市以上で開催されているこの「Green drinks」というイベントの魅力は、その地域でユニークな活動をしているキーマンと気軽に意見交換できる点にあります。

イベント当日は、宝島産のオーガニックバナナを使用したジャムを参加者の大学生にふるまうなど、環境や食の安全に配慮した食材を用いた料理をメンバーが調理し、現地の食材を味わってもらうことで宝島の魅力を知ってもらうと同時に、食を通じた社会問題などについても参加者の方々と意見交換を実施しました。また今回の活動報告会では、鹿児島県トカラ列島の宝島にてバナナファームを営んでいる坂井勇貴さんにもテレビ電話にてトークに参加して頂きました。

- イベント概要
- ・日時 2014年6月19日(木)
19:30～21:30
 - ・場所 「One kitchen (キッチン付きレンタルスペース)」
 - ・参加 約20名の大学生(都内10大学から)



写真9 「Green drinks 宝島」にて活動報告と環境問題をテーマとしたディスカッションを実施

2. 2 「大学生向けアースキャンプ（第三回）」開催

本活動では、宝島での島暮らし体験を通じた大学生の人材育成として、約 10 日間の「アースキャンプ」を島の方々の協力のもと実施しています。都会では体験できない宝島の雄大な自然の中でのキャンプ生活を通じて、私たちが生活するうえで欠かすことのできない「衣食住の原点」について仲間たちと真剣に考えてもらい、海外から宝島の海に流れ着くプラスチックゴミが自分自身の生活と巡りめぐってどのように関わっているかを学ぶ機会を作ります。また、アースキャンプでは「衣食住」の分野でお仕事をされている社会人の方々を講師としてお招きし、実際にキャンプに参加してもらうことにより、大学生にとって学びの濃い時間を作る協力をいただいています。

第三回アースキャンプ概要

- ・日程 8月11日～8月20日（10日間）
- ・場所 宝島キャンプ場および宝島バナナファームの畑等
- ・内容 漂着ゴミクリーンアップ
農業体験 染物体験 食育体験
アクセサリ作り体験
- ・参加 大学生 10名、社会人講師 6名
（所属大学：中央大学、明治学院大学、上智大学、東京農業大学など）



写真 10 アースキャンプの拠点となる移動式テント「ティピ」

2. 3 漂着ゴミクリーンアップ

第三回アースキャンプの開催期間中に、島の沿岸部にて漂着ゴミのクリーンアップ活動を大学生メンバー全員で実施しました。

2013年度のクリーンアップ活動では、主に宝島前籠漁港周辺にて漂着ゴミの具体的な選別調査を実施したため、今回のクリーンアップ活動では、島の観光スポットである大籠海水浴場周辺を中心に漂着ゴミの収集を行いました。大籠海水浴場は宝島でも美しいビーチとして観光客に人気があり、島の子どもたちにとっても絶好の遊び場であることから、夏場になると漂着ゴミの収集作業が行われています。島の中でも比較的ゴミの少ない海岸ですが、今回は最も人通りの多いスポットである大籠海水浴場をクリーンアップ活動の場所としてしぼり、漂着ゴミの具体的な問題点をクリーンアップに参加する大学生に考えてもらいました。

クリーンアップ概要

- ・日程 8月15日～8月17日
- ・場所 宝島大籠海水浴場
- ・内容 漂着ゴミ回収作業
漂着ゴミ選別ワークショップ
クリーンアップ活動で学んだことについてディスカッション



写真 11 宝島大籠海水浴場周辺にて漂着ゴミのクリーンアップを実施



写真 12 風化によって細かく砕かれたプラスチックゴミ



写真 13 海外製の漁具やフロートなど硬質のプラスチックゴミ (2014年8月15日撮影)



写真 14 ガラス瓶と破片類 (2014年8月15日撮影)



写真 15 海外製ペットボトル (2014年8月15日撮影)

2. 4 農業体験

アースキャンプ期間中、大学生向け人材育成の一環として、宝島の農家さんの協力のもと農業体験学習を実施しました。今回の農業体験学習では、「宝島バナナファーム」にて除草剤や農薬を一切使わないオーガニックバナナの栽培に力をいれていらっしゃる坂井勇貴さんを農業分野の講師としてお招きしました。

農業体験では、宝島バナナファームの坂井さんから農業をはじめたきっかけやバナナ栽培のこだわり等をお話していただき、バナナの収穫や畑の整備などを実際に大学生に体験してもらいました。普段、土と触れ合う機会のない都市部の大学生に農業を土づくりから体験してもらうことは「食の安全性」や「持続可能な農業」などのテーマを考える一つのきっかけになります。スーパーやコンビニで当たり前のように売られているバナナですが、消費者の方々に安心して食べてもらえるために坂井さんが実践している農法を体験することで、大学生の乱れがちな食生活の改善に繋がってほしいと考えています。

農業体験概要

- ・日程 8月13日～8月19日（一日約3時間の作業）
- ・講師 宝島バナナファーム 坂井勇貴さん
- ・参加 大学生10名
- ・内容 農業について講義
バナナ収穫体験 畑の整備 土づくりなど



写真 16 宝島バナナファームで農業体験学習



写真 17 宝島バナナファームの畑にて除草作業



写真 18 バナナの植え替え作業

2. 5 染物体験

衣食住の「衣」の分野として、奄美大島で染物のお仕事をされている川島ゆたかさんを講師としてお招きし、アースキャンプ中に着ている T シャツや手ぬぐいを好きな色に染める染物体験ワークショップを実施しました。

染物体験を実施した目的は、実際に自分で着るものを自然の恵みをいかして作ってみることで、現代の「大量生産・大量消費社会」の問題について深く考えてもらうことです。宝島に流れついている海外製漂着ゴミの約 90 パーセントがプラスチック製であると、昨年の漂着ゴミ調査によって分かりました。安くて使い捨てのできる石油製品は世界の経済活動にパワーを与えましたが、そのような大量消費社会の影響がこの宝島に流れつく漂着ゴミを生み出していることも事実です。

今回の染物体験では、自然の恵みをいかした「泥染め」と「草木染め」を大学生に体験してもらいました。草木染めについては、宝島で収穫されたバナナの葉を使わせていただきました。

染物体験概要

- ・日程 8月15日 9:00～15:00
- ・講師 奄美大島の染物職人 川島ゆたかさん
- ・参加 大学生10名、社会人数名
- ・内容 自然の恵みをいかした染物体験
T シャツの泥染め 手ぬぐいの草木染め



写真 18 染物体験ワークショップにて染め方の方法を講義



写真 19 模様がつくようにするため、手ぬぐいを糸で縛りつけた状態で染める



写真 20 糸で縛りを付けていた位置に模様が浮かび上がる

2. 6 「環境学習ワークショップ（第三回）」開催

宝島の子どもたち向け環境学習ワークショップを島のコミュニティセンターで開催しました。第三回目となった今回は、「海のゴミ問題」を環境学習のテーマとして取り上げ、大学生メンバーが子どもたちの講師として、宝島の滞在期間中に漂着ゴミ問題を通して学んだことを伝えました。当日は島の小中学生 12 名がワークショップに参加し、宝島の漂着ゴミ問題の授業と環境問題についてのクイズ大会などを通して、子どもたちそれぞれが環境問題の解決のために自分にできることを発表してもらいました。「海のゴミ問題」を取り上げるのも今回で三回目となったこともあり、毎回ワークショップに参加している児童の中には、前回の環境学習の内容をしっかりと覚えていてくれる子もおり、いままで環境学習の企画を行ってきた大学生メンバーとしても嬉しい結果になりました。漂着ゴミ問題は、流れ着くゴミを拾うだけでは解決できないグローバルな問題ですが、この問題への見方を少し変えてみることによって、例えば、漂着ゴミ問題を教材とした子どもたちへの環境教育や大学生の人材育成など、問題への解決アプローチは無数に存在するのかもしれません。

環境学習ワークショップ概要

- ・日程 8月17日 13:00～16:00
- ・場所 宝島コミュニティセンター
- ・参加 大学生10名 島の小中学校12名 他保護者
- ・内容 海のゴミについての環境学習



写真 21 第三回環境学習ワークショップ集合写真



写真 22 宝島の漂着ゴミ問題について講義



写真 23 大学生が子どもたちの講師としてグループワークに参加

2. 7 定例ミーティング

月に1度から2度の頻度で、宝島のプロジェクトに参加している大学生メンバーの定例ミーティングを実施しています。宝島で実際に活動できる時間は限られていることもあり、東京都の新宿駅周辺にある大学生向け貸し出しスペースにて、活動についてのアイデアを議論してきました。「宝島の海とあゆむ大学生プロジェクト」が発足してから二年という時間が経ちましたが、発足以来、様々な大学に所属する大学生が活動を盛り上げてきてくれました。

現在、大学生の課外活動の現場として企業や非営利法人へのインターンシップが盛んに行われるようになってきていることもあり、本団体のような大学生の有志グループの活動に参加する学生は減少してきていると言われています。ですが、今後もこの活動をきっかけに出会った大学生たちの縁がこれからも末永く繋がり、社会に貢献できる立派な人材に育ってほしいと思います。

プロジェクトに参加したメンバー概要

- ・参加 都内大学生…二年間で約 20 名
社会人講師…二年間で約 10 名
- ・大学 関東関西より約 10 大学
中央大学、上智大学、明治学院大学、東京外国語大学、武蔵大学
東京農業大学、国際基督教大学、同志社大学など



写真 24 定例ミーティング風景（東京都新宿駅の学生向けスペースにて）